

C-12 森の肝試し

■「一人一人にそれぞれのフツウ」

■自分で感じ・考え・選び・決める・行動する

■視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
導入① 思い出す	■スタッフから「肝試しって知ってる〜?」と言葉かけ。■過去の肝試しの経験を思い出す。			■肝試しの思い出を言葉にしてみんなに伝える。■みんなの思い出にも耳を傾ける。			
導入② 自分の気持ちを伝える		■スタッフから「今から肝試しやってみる?」と言葉かけ。■暗く、気温が下がってくる、木々がざわめく森を五感で感じながら、■「怖いけど肝試しをしたい」「怖いからやりたくない」という気持ちを言葉にして、■みんなに伝える。■みんなの思い出にも耳を傾ける。■スタッフが「安全管理上、全員でいかなければならない」ことを伝え、■「肝試しをしたい」子どもたちに、尻込みしている子どもたちを説得してもらう。					
導入③ みんなの意見を聞き、まとめる				■みんなの気持ちを書き出し、■意見をまとめる。★「肝試しをする・しない」いずれの結論でもよい。「やりたい」子の気持ち、「やりたくない」子の気持ちをお互いが聴き取り、共感し、新たな段階に進めるように見守り、促す。			
ルール作り 怖いからやりたくない」子どもたちに納得してもらえらるルールを考案する			■「何人」ずつのグループ、「何番目」に出発するなど理解する。	■「暗いのは怖い」「真っ暗を楽しみたい」など自分の意見を伝える。	■多様な意見を取捨選択し、まとめる。■グループのなかの小さい・弱い・遅い子どもたちを排除しないルールを考える。		
グループになり出発する	■怖いという感情と向き合い、調整する。	■暗い中を移動する。	■暗いということで、「ゆっくり歩く」「他者と手をつなぐ」「聴覚での情報を頼る」など調整する。	■自分の気持ちを他者に伝える。■怖い時は助けを求める。■怖がっている子がいたら励ます。守る。			
帰ってくる				■順番待ちで待機している子どもたちに感想を言葉にして伝える。	■肝試しが終わった子同士で感想を言い合い、自分の感想と他者の感想の相違を感じる。		
自分の順番が来るまで待つ。他の子が終わるまで待つ。		■待つ間に、刻々と変化する森の様子を、五感を通して感じる。	■暗いなか、順番を待つときの気持ちに気づく。	■待っているときの気持ちを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの思い出にも耳を傾ける。	■順番などのルールを守る。		
終了・振り返り				■「また、やりたい」「もうしたくない」など感想を言葉にしてみんなに伝える。	■グループの中で共通の思い出ができ、仲間意識が芽生える。		

家で話す						■感情を受け止め、アタッチメントが形成される。	
------	--	--	--	--	--	-------------------------	--